



きずな

第48回全道 (U-12) サッカー少年団大会 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう!!

アンフィニ MAKI FC U-12 上江別 JrFC
コンサド札幌 A SSS 札幌コラン
宮の森 LIV. FC U-12A
SSS 札幌 コンサド札幌 B

札幌地区代表を目指して126チームが8ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記8チームが全道大会に進出することになりました。全道場で貴重な経験をしてきてほしいです。

U-12のサッカー大会も残すところリーグ戦と会長杯ということになりました。今大会での経験を生かし、目標を持って日々のトレーニングに励んでください。

7月3日(日) 美原G Aブロック		
FC TIPS	アンフィニ MAKI FC U-12	
0	0-2 0-1	3

西風が江別美原Gを横切る中、風下のTIPSのキックオフで、Aブロックの代表決定戦が開始された。前半3分、アンフィニ3番が後方10番からのスルーパスからペナルティエリア内でGKと1対1になりボールを浮かしてゴール。アンフィニが先制した。TIPSは縦へのロングパスから10番が1対1で勝負を仕掛け、前半6分、ゴールまで30mのフリーキック、直接ゴールを狙うが惜しくもゴールの右にそれてしまった。アンフィニは、6番のポストプレーや8番のサイドからのセンタリングからゴール前で

も細かくつなぎ、次々にシュートをした。TIPSも7番を中心に粘り強い守備で追加点を許さなかった。GK1番も「絶対チャンスあるから。」のベンチに励まされピンチをしのいでいたが、18分、右からのシュートをGKがはじいたところをゴール前にいたアンフィニ6番が2点目を決め、アンフィニのリードで前半終了。

後半、風上のTIPSは縦へのロングパスからアンフィニゴールにせまるが、相手ディフェンスを抜ききれない。風下のアンフィニは、選手の入替えもあり、攻撃が単調になったように見えたが27分アンフィニ3番がTIPSのDFからのボールを右サイドでインターセプトし、左サイドでフリーになった7番にロングパス、7番はゴール左に正面からシュートし3点差にする。TIPSは最後まであきらめず右サイドからのドリブル突破を再三試みたが得点できず、ゲームセット。3-0でアンフィニが全道大会出場を決めた。



7月3日(日) 美原G Bブロック		
上江別 Jr FC	西野第二 A	
5	1-0 4-1	1

西野第二のキックオフで試合開始。上江別が素早い攻守の切り替えで主導権を握る。前半5分、9番からのパスを受け GK と 1対1 になった 10番が冷静にゴールに流し込み上江別が先制に成功する。その後も上江別が 13番を軸にした左サイド、GKからの制度の高いフィードを武器に猛攻を仕掛ける。西野第二は耐えつつも、前線の 18番を起点にチャンスをつかおう。前半は、1-0で上江別がリードのまま終了。

後半開始直後、上江別に CK のチャンス。8番が入れたボールは、ゴール前で混戦となるが最後は、10番が左足で豪快に蹴りこみ 2-0 となる。その後、西野第二の反撃。14番がドリブル突破を試みこぼれ球に 18番が反応するがおしくもゴールならず。後半8分には、18番が絶妙なループシュートを放つがゴール右に外れる。すると、上江別に3点目が生まれる。31分7番からのパスを受けた 10番が再び左足で決め 3-0。西野第二の 9番が一矢報いるも、その後 2失点し 5-1 で試合終了。上江別が全道大会進出を決めた。



7月3日(日) 美原G Cブロック		
コンサドーレ札幌 A	北郷 A	
3	2-0 1-0	0

北郷ボールでキックオフ、コンサドーレ A がワイドにボールを動かすのに対し、北郷はコンパクトな

陣形で守りを固める展開。

1・4・5・6分とコンサドーレ A が立て続けにシュートをするもゴールならず、7分コンサドーレ A の 11番の CK のあと、35番がペナルティエリア内でファールを受け PK に、これを 11番が決めて 1-0。さらに 16分、北郷のスローインをコンサドーレ A の 10番がカットして、GK との 1対1 を冷静に決めて 2-0。終始コンサドーレ A のペースで前半終了。

後半コンサドーレ A のボールでキックオフ。前半のディフェンスから疲れの見える北郷だったが、必死の守り。30分にはコンサドーレ A、37番のシュートを GK がナイスセーブ。しかし、33分同じくコンサドーレ A の 37番が上手いターンから豪快にシュートし 3-0。北郷も 27分には 6番の FK から 5番がヘディングシュート。38分には 11番がドリブルで持ち込みシュートするもいずれもゴールならず。3-0でコンサドーレ A が全道を決めた。



7月3日(日) 美原G Dブロック		
SSS 札幌FC	NORTE 札幌 FC A	
2	0-0 2-0	0

NORTE のキックオフで試合開始。開始直後 SSS コラソンが FK を獲得。こぼれ球を 11番が思い切りよくシュートするがゴール上に外れる。その後も SSS コラソンが 4・5・11番を中心に攻め立て 11番が連続でシュートを狙うも GK がファインセーブ。対する NORTE は、10番が前線からチェイシングを繰り返しペースを取り戻していく。14分には細かいパスをつなぎペナルティエリア内 10番にボール

が渡るがシュートを打てず。18分には3番が左足でシュートをするがSSS コラソン GK がセーブ。両チーム得点を奪えないまま前半終了。

均衡を破ったのはSSS コラソン。後半開始早々、相手ゴール正面でFKを獲得し11番が直接狙う。これがゴール左上に見事に決まりSSS コラソンが先制。すぐにNORTEも反撃。7番が左サイドを個人技で突破しゴール前に切り込むが、シュートはSSS コラソン DF が体を張ってブロック。31分にSSS コラソンが追加点。DFからの縦パスをカットした5番がシュートを決め3-0となる。NORTEも7・9番を軸に攻め続けるが得点を奪うことが出来ず3-0で試合終了。SSS コラソンが全道進出を決めた。



7月3日(日) SSS G Eブロック		
宮の森		FC DENOVA
3	2-1 1-0	1

DENOVA のキックオフで試合開始。1本目のシュートは2分宮の森9番のロングシュート、枠を捉えられず右へ外れる。DENOVA の初シュートは8分10番が左サイドから突破しシュート、惜しくもGKに阻まれる。先制点は10分宮の森9番、ハーフウェイライン付近からのFK。GKジャンプするも届かずゴール上段へ決まり1-0。12分DENOVAの10番左サイドからドリブルで2人かわしゴール右隅へ決め1-1。17分宮の森左サイド6番から右サイド13番へ、13番が中へ落とし11番が左隅へゴール。2-1宮の森リードで前半終了。

後半は開始から10分ほどDENOVAが押し込む

時間が多かったが、宮の森 DF が決定的な場面を作らせなかった。33分宮の森がCK連続2本、ヘディングシュートするもバーの上。38分宮の森13番から相手DF裏へのスルーパスに抜け出した10番がGKと1対1を冷静に決め3-1。そのまま試合終了、宮の森が全道進出を決めた。



7月3日(日) SSS G Fブロック		
LIV.FC U-12 A		篠路 FC
5	4-0 1-1	1

1分LIV.FCの35番がドリブルシュート、GKセーブするもこぼれ球を33番が流し込み先制する。3・5分にもLIV.FCの33・26番がシュートを放つも篠路 GK ファインセーブで死守する。10分、LIV.FCの35番が味方のクリアボールから抜け出しGKと1対1を冷静に決め2点目。14分LIV.FC 26番が抜け出しシュートを決め3点目。19分LIV.FCの35番がシュート、GKセーブするもこぼれ球を再び35番がキープしゴールに流し込み4-0で前半終了。

23分、篠路FCの10番がミドルシュートを放つもGK正面。篠路FCは、10番を中心に攻め上げるもLIV.FCの堅い守備に阻まれる。しばらく膠着状態が続いたが35分、LIV.FC右サイド30番からのクロスをも33番が上手く合わせゴール右隅に決め5点目。36分篠路FC10番のFKから抜け出した9番がゴールを決め反撃するがここで試合終了。5-1でLIV.FC Aが全道大会進出を決めた。



7月3日(日) SSS G Gブロック		
SSS 札幌		上野幌西
5	2-0 3-0	0

SSS 札幌のキックオフで試合開始。開始よりこう着状態で初のシュートは上野幌西でゴール右側に外れる。8分 SSS 札幌の7番がゴールを決め1点目。9分には、SSS 札幌10番が2点目を決める。その後は両チームとも決定的なチャンスはなく前半終了。

後半上野幌西のキックオフで試合開始。21分 SSS 札幌7番のアシストで2番が冷静なゴールで3点目。24分には、9番がドリブルシュートでゴールを奪い4点目。その後はこう着状態で攻防が続く中、上野幌西はパスをいかし前線にボールを集めゴールのチャンスをうかがうも SSS 札幌のペースでゲームが進む。後半終了間際に SSS 札幌の9番が GK をかわし5点目のゴールを決め、SSS 札幌が全道大会進出を決めた。



7月3日(日) SSS G Hブロック		
コンサドーレ B		札幌澄川 JFC
1	0-0 0-0 延長1-0	0

4分コンサドーレ B の34番のクロスに15番がヘディングシュートは枠を外れる。コンサドーレ B のペースで試合が進む。コンサドーレ B はコートを広く使い両サイドから積極的に攻撃を仕掛けるも札幌澄川5番と GK を中心とした鉄壁のディフェンスでゴールを死守。13・14・16分とコンサドーレ B の22番がシュートを放つも GK ファインセーブ、0-0のまま前半終了。

後半もコンサドーレ B がボールを支配しつつも札幌澄川が堅いディフェンスで対抗。31分札幌澄川3番が左サイドをドリブルで駆け上がるもコンサドーレ B の DF が落ち着いて対応。32・33・35分とコンサドーレ B が強烈なミドルシュートを放つも札幌澄川 DF、GK がゴールを死守。36分札幌澄川14番のスルーパスに抜け出した3番がシュートするもゴール左に外れ0-0のまま後半も終了延長戦に入る。開始早々コンサドーレ B の23番が強烈なミドルシュートをゴール左上に突き刺し均衡が破れる。43分札幌澄川14番がドリブルでゴール前まで持ち込むもコンサドーレ B の DF がしっかり対応しここで試合終了。1-0でコンサドーレ B が全道大会進出を決めた。



全道大会の結果は、道協会HPをご覧ください。